

臨床実習前段階としての シミュレーション教育プログラムの開発

栗田康生¹、天野隆弘²

1 国際医療福祉大学大学院 特定行為看護師養成分野

2 国際医療福祉大学

【背景】

- 2015年10月より特定行為に係る看護師の研修制度が開始され、看護師の卒後研修領域において医学的な診察技術の獲得と検査所見の判断の必要性が増している。
- 一方、座学のみでは解剖病態生理や身体診察と検査所見を併せて理解することが難しい。

【目的】

- 特定行為看護師養成分野20名を対象に、心疾患教育における病態生理、身体診察技術、心エコー検査の座学講義を基礎に、臨床実習前段階における有効なシミュレーション教育方法を検討する

【方法－1】

- 対象：特定行為看護師養成分野20名
- 心疾患シミュレータHarvey™と心臓超音波トレーニングシミュレータ ハートワークスTTEモバイルを併用し、聴診音などの身体所見を確認した後に心エコーで画像を確認する。
- 以下のステップで実践評価を行った。
 - ① 解剖病態生理、身体診察、心エコー検査を講義
 - ② シミュレーション機器の説明
 - ③ 正常状態の診察手技および代表的弁膜症の身体診察手技を心疾患シミュレータHarvey™により教員が実演し、それぞれの弁膜症に応じた心エコー所見を心臓超音波トレーニングシミュレータハートワークスTTEモバイルにより描出して確認

【方法－2】

- ④ 1つの疾患について学生1名に教員と同じ内容を実演させ、残りの学生に対してプレゼンテーションを行う
- ⑤ ④を全員の学生に繰り返し行う
- ⑥ 教員による振り返り
- ⑦ ④～⑥を全員の学生に対して繰り返し行う。

【結果】

- シミュレーション機器を併用した診察シミュレーション教育方法を考案した。
- 従来は病態生理、聴診身体所見と心エコー画像を別々の教育内容としていたが、シミュレーション機器を併用することにより、各自が聴診している心臓弁膜症を直ちに心エコーで確認することが可能となった。

【結果および考察】

- シミュレーション機器の併用により、病態生理や身体所見と検査所見を合致させることができ、理解度の向上が得られると考えられた。
- 一方、今回は20名と少人数の学生を対象としたが、将来学生数が増加した際の対応など、今後の検討が必要であると思われる。

国際医療福祉大学学会

COI開示

筆頭演者名：栗田 康生

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。